

令和 8 年 2 月 4 日（水）

令和 7 年度地域・職域連携推進関係者会議

資料 8

島根労働局における 地域・職域連携の取組みについて



島根労働局
公式キャラクター
しじろー

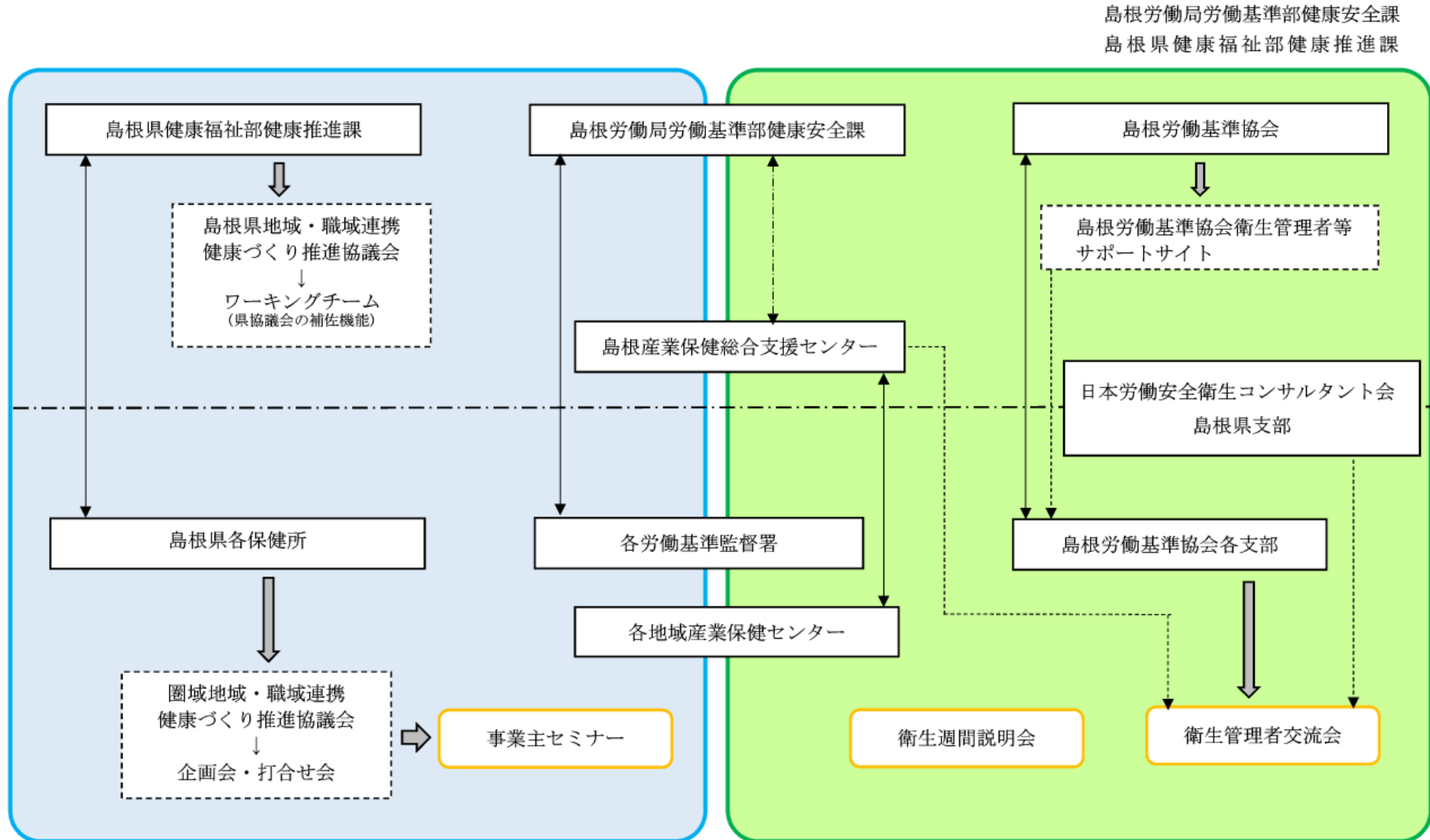
令和 8 年 2 月 4 日（水）

島根労働局労働基準部健康安全課

安全衛生係長 堀尾知史

島根県 労働衛生関係機関・団体 連携の枠組み

島根県 労働衛生関係機関・団体 連携の枠組み



取り組み事例 1 衛生管理者交流会

- ・ 毎年全国労働衛生週間説明会説明会に併せて実施。
- ・ 労働局及び島根産業保健総合支援センターの職員がファシリテーターとなり、特定のテーマにを基に事業場の衛生管理者の日ごろの悩み等の意見交換を行う。
- ・ 島根県地域・職域連携健康づくり推進協議会での話しを契機に令和7年度は一部の会場で保健所や市の担当者にも参加いただいた。



事業場が抱える労務管理に関連した保健衛生上の悩み等を共有してもらうことで、**労務管理の視点からの保健衛生管理の取り組み**に関する理解の向上に繋がった。



取り組み事例 2 事業主セミナー

- ・ 毎年各監督署と県内の各保健所と連携し事業主セミナーを実施。
- ・ 監督署では主に法令改正や安全衛生に係る施策等の情報提供を行っている。
- ・ 保健所と共同で実施することで、監督署単独の説明会等ではなかなか参加されない事業場にも情報提供を行える機会となっている。
- ・ 保健所も監督署が共催することで普段保健所とあまり接点のない事業場の参加が得られている。



共催することで監督署、保健所共に普段**接点の少ない事業場への情報提供が可能**となっており、地域・職域連携上のメリットとなっている。

共催：松江労働基準監督署 島根産業保健総合支援センター
松江市・島根県共同設置松江保健所

令和7年度 松江圏域 働きざかりの健康づくり研修会

参加費
無 料

～元気で長く働きたい！
長く元気で働ける職場づくりをしたい！
メンタルヘルス編～

職場の健康づくりの取り組みや
活動のヒントをお伝えします☆



日 時 令和7年10月29日（水）13:30～15:30（13:00～受付）

会 場 島根県松江合同庁舎 2階 講堂（松江市東津田町1741-1）

対象者 事業主・安全衛生管理者・衛生管理者・安全衛生推進者
衛生推進者・地域保健関係者等

内 容

○講演 働き盛り世代の健康づくり
～メンタル不調者の対応を考える～
講師 心と体の診療所おくだクリニック
院長 奥田 亮 氏

メンタル不調者への
対応にお困りでは
ないですか



○情報提供；ストレスチェックについて
松江労働基準監督署 島根産業保健総合支援センター

○健康づくり活動表彰（職域部門）・活動紹介
松江圏域健康長寿しまね推進会議会長賞 受賞事業所
医療法人いきいきクリニック エム・コーテック株式会社
カナツ技建工業株式会社 株式会社ひろせプロダクト 松江土建株式会社

申込み締切 10月20日（月）

★FAXで申込み：松江保健所 FAX：0852-21-2770

★しまね電子申請システムで申込み

URL：https://ttzk.graffer.jp/pref-shimane/smart-apply/
apply-procedure-alias/kenkoudokuri1029

問合せ先 松江保健所 健康増進課（TEL：0852-23-1314）



取り組み事例 3 島根産業安全衛生大会①

- ・毎年11月に島根産業安全衛生大会を実施。
- ・安全衛生活動において優れた取り組みを実施している事業場及び個人を表彰。
- ・第2部では安全衛生活動の取組みに係る事例発表や特別講演を実施。



今年度、初めて島根県が健康長寿日本一を目指して進めている「健康長寿しまね」とのコラボ企画を立ち上げ、健康づくりクイズバトル及び健康セルフチェックブースへの出展を行った。



安全は基本! 健康は資本!
中高年の★星になれ!

令和7年度
島根産業安全衛生大会

令和7年11月12日水 (開場12:30) 13:30~16:10
島根県民会館中ホール (松江市殿町)

参加無料

プログラム

第1部 表彰 島根労働局長安全衛生表彰・島根労働基準協会会長安全衛生表彰

第2部 「健康長寿しまね」・「さんぽセンター」完全コラボ企画!

参加型イベント
圏域対抗 健康づくりクイズバトル

会場全員参加
正解者の中から豪華景品も当たるよ

特別講演 演題 「高齢社会における産業保健の挑戦」
産業医 森口次郎氏 合同会社森口産業医事務所代表
島根産業保健総合支援センター 産業保健相談員

プロフィール:
京都府医師会・産業保健担当理事、産業医科大学・産業衛生教授(非常勤)
1992年産業医科大学医学部医学科卒業。1995年より京都工場保健会で中小企業を中心とした産業保健活動に従事してきた。2006年にアムステルダム大学エロネル研究所派遣。
日本産業衛生学会奨励賞(平成24年度)、中央労働災害防止協会緑十字賞(平成30年度)

同時開催 健康セルフチェックブース
12:30~16:10 骨密度測定・ベジチェック®・健康相談

展示ブース 安全衛生用品・禁煙啓発

主催: 島根労働災害防止団体連絡協議会

(一社)島根労働基準協会・建設業労働災害防止協会島根県支部・陸上貨物運送事業労働災害防止協会島根県支部
林業・木材製造業労働災害防止協会島根県支部・(公社)建設荷役車両安全技術協会島根県支部・(一社)日本鈴石協会島根県支部
(公財)島根県環境保健公社・(独)労働者健康安全機構 島根産業保健総合支援センター・(公社)日本作業環境測定協会中国支部島根分会
島根労働局 松江・出雲・浜田・益田労働基準監督署

《参加申込書は裏面へ》



- ①中高年齢労働者の職場における健康づくりをテーマにしたプログラムにしたい…
- ②企業の事例発表が続いてマンネリ化しており、参加者を巻き込んだプログラムを行いたい…
- ③コロナ禍で減少した参加者を増やしたい…



何かないか検討したところ…

県と局の担当課長が顔見知りで、何かコラボでもという話しが以前から存在。

「健康長寿しまね」では健康で働き続ける職場づくりの支援にも取り組んでおり、今年度のテーマと親和性があるだけでなく、「健康長寿しまね」とコラボ企画を行うことでマンネリを打破、更には地域・職域連携の推進に資すること考えコラボ企画を打診。

最終的に協議会のメンバーである島根産業保健総合支援センターとも連携しクイズ大会を行うことに決定！

取り組み事例 3 島根産業安全衛生大会③

クイズ大会は全5問の〇×クイズで実施、主に中高年齢労働者の健康づくりに関連した問題を出題。壇上では各圏域の企業に参加してもらい、観覧席の参加者と一緒に分かれてクイズに回答。各圏域の企業と観覧席の参加者の成績上位者には健康器具やまめなくんグッズを進呈。クイズの途中では寸劇によるエイジフレンドリーガイドラインで示されている2ステップテストの実演。クイズを盛り上げるために「健康長寿しまね」のマスコットキャラクターまめなくんにも登場。



クイズの様子



2ステップテストの様子



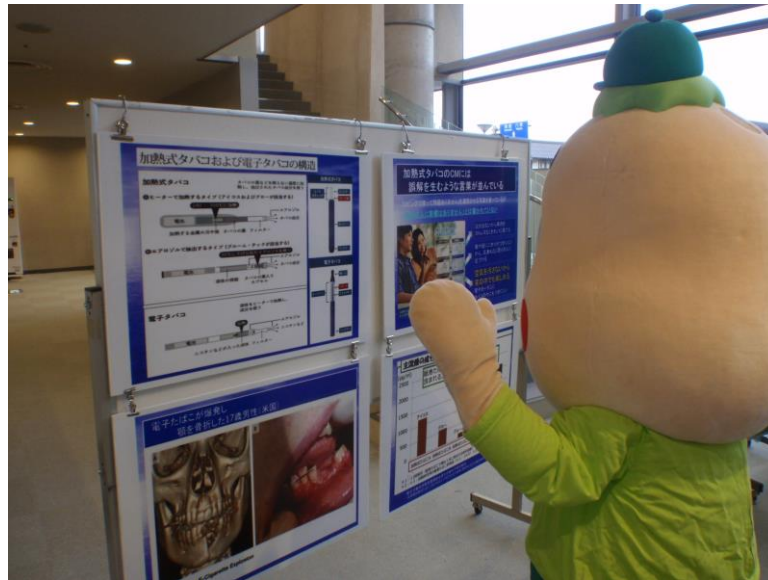
クイズの景品

取り組み事例 3 島根産業安全衛生大会④

展示ブースでは、タバコ等に関する展示、島根産業保健総合支援センターによる健康相談や骨密度測定を実施。

島根県は野菜の摂取に関する展示を行い、健康のための野菜の摂取を啓発。

ブースには野菜の摂取量を測定するベジチェックを設置し、来場者に日ごろの野菜の摂取量の確認をして頂いた。



タバコに関する展示の様子



野菜の摂取に関する展示の様子



ベジチェックを受けるまめなくん

島根産業安全大会でのコラボの成果と地域・職域連携の今後の課題

コラボの成果

- ・来場者数は前年比の約12%の増加（234人→261人）、コロナ禍以降最も多い来場者数となる。
- ・アンケートでは、県とのコラボ企画は好評であり、課題であったマンネリ感の脱却に一定の効果はあったものと思料。
- ・健康長寿しまねの認知向上にも付与。



参加者から今後取り扱ってほしいテーマの中には、メンタルヘルス対策等、地域・職域連携上課題となっている対策と重なる部分もあり、今後も連携して取り組んでいける部分はあると思料。

地域・職域連携の今後の課題

- ・今年度の取組みの端緒は、県と労働局の担当課長が以前から面識があったこともある。今回の取組みを契機に**継続的に連携し合う関係をどう続けていくか**が課題。
- ・地域・職域連携において労働局の役割は職域の分野であるが、協議会を成長、発展させていくうえで、**労働局が地域の部分に対してどのように関わっていくべき**なのかが課題。